

冬山教室・オプション山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. 参加者 L 南山す、SL 桐原、
坂口、本上、藤戸、松下、南山よ
2. 山城／ルート 伯耆大山・夏山コース
3. 交通手段 車
4. 行動記録

<入山日 2016年2月27日 ><下山日 2016年2月28日 >

- 2/27 南光河原駐車場 10:25 出発→六合目避難小屋 12:38-58→八合目 14:45→
弥山山頂避難小屋 15:25
- 2/28 山頂避難小屋 7:10→八合目 7:42→六合目避難小屋 8:25-40→行者谷分岐
8:50→常行谷上部にて雪上訓練 9:00-10:50→北尾根分岐 11:00→
南光河原駐車場 12:15

5. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a) 予定のルート・日程で行動出来たか？

予定ルートをはずれた場合、あるいは日程が異なった場合はその理由

- 六合目から上部は強風、地吹雪、ホワイトアウトで時間がかかり、山頂避難小屋への到着が予定より 1.5 時間遅れた。

b) 事故に繋がりそうな要因（ヒヤリハット）が発生したか？

発生した場合、具体的に記す

- 雪上訓練場所ではテラスを作りザックを置いていたが、訓練が終わるころにHさんのザックが斜面から転がり落ちた(約 200m)。常行谷を下り回収して北尾根に上がる。ザックの下部にロール用にしたマットを付けていたので不安定な状態であった。
- 山頂小屋に着いたとき、MYが寒さで震えていたので衣類を着込んでシュラフに入れ、レスキューシートで包んで暖かい飲み物を与えた。1 時間ほどで元気になる。軽度の低体温症であった。小屋に居合わせた土佐アルパインクラブの方が親身に手助けをしてくれた。

c) パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか？

- 斜面でのザックの置き方について指導する。
- 発汗時の衣類調整について帰宅後に話し合った。

6. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

- 強風、吹雪、ホワイトアウトで歩が進まず時間がかかったが、冬山の厳しさを体験でき冬山総合力の向上につながった。
- 常行谷上部のブナ林帯は斜面もきつく、滑落停止などの練習場所に良い。滑落停止、ロープワークを行ない充実した練習になった。
- 下降に使った北尾根はトレースも無くルートファインディングが楽しめる。
- 小屋の中のトイレが使えるので助かる。

報告者氏名 南山房啓 2016年3月3日

